

黒い画集 ある遭難（1961）

メディア 映画

ジャンル サスペンス ミステリー

製作国 日本

色彩 B&W

時間 87分

初公開日 1961/06/17

公開情報 東宝

【解説】

松本清張の短編小説集『黒い画集』の中の一編『遭難』を、石井輝男が脚色し杉江敏男が監督した推理作品。主な出演者が実際に鹿島槍にロケーションを行っており迫力満点。

A銀行丸の内支店の店長代理である江田をリーダーとする三人のパーティーが鹿島槍で遭難し、浦橋は一命を取り留めたものの、岩瀬が命を失ってしまう。岩瀬の姉の真佐子は、初心者の方浦橋が生き残り経験者の弟が亡くなったことに疑問を抱く。真佐子は江田を夕食に招き、従兄の榎田二郎を遭難現場まで案内してほしいと頼んだ。山岳のエキスパートである二郎は、江田と鹿島槍を目指して進みながら、事故の疑問点を次々に語り始めた。そしてこの事故が、実は人為的に引き起こされた殺人事件だと断定するのだった。

【クレジット】

監督 杉江敏男

製作 永島一郎

原作 松本清張

脚本 石井輝男

撮影 黒田徳三

美術 小野友滋

音楽 神津善行

出演 伊藤久哉

香川京子

土屋嘉男

児玉清

天津敏

和田孝